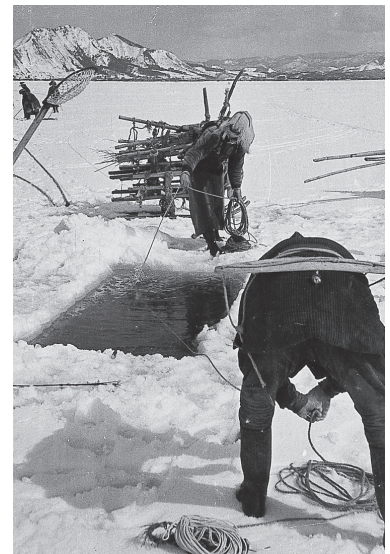


# 五城目町70年のあゆみ

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和30年 (1955)	2・12	五城目町、馬場目村、富津内村、内川村、大川村を廃し、5か町村を合併して「五城目町」を設置することについて知事に申請する廃置分合の議決が終わる。	4・24	＜秋田県＞ 小畑勇二郎氏秋田県知事に就任。
	3・22	昭和30年3月30日から5か町村を廃し、五城目町とする秋田県告示。(秋田県告示第144号、知事・池田徳治)	5・27	第1回全県高校総体を開く。
	3・29	5か町村の廃置分合により、五城目町を設置し、昭和30年3月31日からその効力を生ずる旨の総理府告示。(総理府告示第531号、内閣総理大臣・鳩山一郎)	8・6	道川海岸で第1回ロケット発射実験成功。
	3・31	新五城目町発足。(面積210.12平方㊦、人口19,761人、世帯数3,285世帯) 町長職務執行者に児玉孫左衛門氏、助役事務取扱者に北島金森氏、収入役事務取扱者に土田蔵太郎氏を選任。	9・1	県内8地方事務所を廃止。同時に福祉、県税、土木、土地改良、林業の各事務所発足。 ※町村合併促進。(28年：224市町村→32年：72市町村) ※空前の大豊作。
	4・1	町社会福祉協議会発足。	1・24	＜国内外＞ 衆議院解散。
	4・15	初議会召集。初代町議会議長に畠山松太郎氏、副議長に伊藤尚三氏就任。	2・27	第27回衆議院議員選挙執行。
	4・30	町長選挙執行。初代町長に菊地米蔵氏が当選。	3・19	第2次鳩山内閣が成立。
	5・1	新町建設5か年計画を策定。(総額2億9,800万円)	7・21	「政府に売渡すべき米穀に関する政令」施行。(予約売渡制の実施)
	5・22	西野火災。住家、非住家8棟が全焼。	11・13	日本社会党統一。
	5・29	初代助役に北島金森氏、小林源四郎氏を選任。初代収入役に土田蔵太郎氏を選任。	11・15	自由民主党結成。
	6・24	旧町村と新五城目町との会計事務引き継ぎが完了。	12・29	地方財政再建促進特別措置法公布施行。
	6・25	明治36年来の大洪水発生。(被害総額1億5千万円)		
	7・23	昭和30年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,755円)		
	7・25	昭和30年度当初予算決定。(一般会計1億2,308万9千円)		
	8・26	五城目中と富津内中西教場の統合決定。		
	9・10	町民生委員協議会発足。		
	10・10	町消防長に北島金森氏就任。消防本部を役場に設置。		
	10・25	国勢調査実施。(人口19,700人、世帯数3,279世帯)		
	11・3	第1回総合産業祭を五城目小で開催。		
	11・15	内川学校林問題解決。		
12・24	町青少年問題協議会発足。			
12・26	大川本村火災。住家、非住家15棟が全焼。			
12・27	五城目中、富津内中統合校舎敷地が広ヶ野に決定。 ※五城目営林署がガソリン機関車で運材開始。 ※保温折中苗代が普及しはじめる。			



合併問題を話し合う面湯村議会（昭和30年3月）



昭和30年代の水下漁

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和31年 (1956)	1・13	町国民健康保険運営協議会発足。		<b>&lt;秋田県&gt;</b>
	2・22	館町公営住宅20棟が完成。	4	県総合振興5か年計画を策定。
	3・12	昭和31年度当初予算決定。(一般会計9,902万5,814円)	5・16	県地方財政再建特別措置法の適用を決定。
	3・21	町議会議員選挙(小選挙区)、教育委員選挙執行。		<b>&lt;国内外&gt;</b>
	3・30	湖東4か町村伝染病隔離病舎完成。(湖東病院に併設)	1・30	新市町村建設基本方針決定。
	3・31	五城目農業共済組合統合発足。	7・8	第4回参議院議員選挙執行。
	4・1	国民健康保険事業を実施。 大川警察官駐在所を開所。	9・1	地方自治法改正。
	4・4	第2代町議会議長に加賀谷力司氏就任。	12・18	日本が国際連合に加盟。
	4・7	第2代町議会副議長に猿田忠三郎氏就任。	12・23	石橋内閣が成立。
	5・18	杉沢小学校独立校舎開校。		
	5・30	町家畜管理所、食肉処理加工所が杉ヶ崎に竣工。		
	6・20	昭和31年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,470円)		
	8・7	台風9号の被害が2,700万円を超す。		
	9・26	旧町村の農業委員会を統合。		
	9・30	野田、岡本、浦横町3集落の編入合併を議決。		
	10・1	首長の任命による地方委員会発足。		
	10・10	五城目、杉沢間バス路線開通。		
11・13	五城目町5地区消防団の統合を議決。			
12・10	馬場目高瀬橋が竣工。			
12・13	五城目統合中学校建設工事施工を議決。 各地区の財産区廃止を議決。			
昭和32年 (1957)	2・5	砂沢の古窯跡が県史跡に指定。		<b>&lt;秋田県&gt;</b>
	3・30	地方財政再建特別措置法の適用団体に指定。(赤字額4,300万円)	5・1	八郎瀧干拓事務所発足。
	4・1	五城目小へ野田、岡本、浦横町地区児童114人が転校する。	8・18	秋田県庁が屋根修理の失火により焼失。
	4・10	五城目統合中学校第1期工事に着工。(総工費1,450万円)	12・26	八郎瀧干拓漁業補償額16億9千万円で妥結。
	4・14	大川地区で分町賛否投票を実施。		<b>&lt;国内外&gt;</b>
	4・24	町商工会設立総会開催。	2・23	岸内閣が成立。
	5・1	菊地町長病気のため、代理町長に北島金森助役を任命。 町公民館が教育委員会の中に発足。	7・10	労働大臣に石田博英氏、建設大臣に根本龍太郎氏。
	5・5	野田、岡本、浦横町で八郎瀧分町の第1回賛否投票実施。	8・20	政府地方公務員の政治活動規制。
	6・5	菊地米蔵町長、病気のため辞任。 野田、岡本、浦横町の3集落で八郎瀧町からの分町住民投票実施。選挙は無効となる。 農村集団電話制度実施。	10・1	自然公園法施行。
			12・14	水道法施行。
		12・23	100円硬貨発行。 ※金融引き締め、後半なべ底景気。	



分町賛成・反対を訴える大川地区のデモ(昭和32年3月)



昭和32年2月、県史跡に指定された砂沢古窯跡

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和32年 (1957)	6・18	町長選挙執行。第2代町長に加賀谷力司氏が当選。		
	6・28	前町長の菊地米蔵氏逝去。		
	6・29	第3代町議会議員長に畠山松太郎氏、副議長に猿田忠三郎氏就任。		
	7・12	昭和32年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,745円)		
	7・16	町農業委員会選挙執行。		
	7・29	昭和32年度当初予算決定。(一般会計1億1,545万6千円)		
	10・12	五城目と八郎潟の分町争いで32人の学童の学籍がなくなる。		
	11・3	第1回秋田県森山登山競技会を実施。 森山に希望の塔が建てられる。		
	12・9	秋田相互銀行五城目支店が新築移転。 ※この年、八郎潟干拓事業が開始される。		
昭和33年 (1958)	3・3	五城目町、馬場目村、富津内村、内川村の町内4森林組合が合併し、五城目森林組合が発足する。		
	3・21	面潟地区の一部で住民投票執行。八郎潟町からの分町が決定する。	6・22	<秋田県> 参議院秋田県選出議員補欠選挙執行。
	3・28	上水道布設を議決する。	7・16	全県31か所に農業改良普及所を設置。
	3・29	昭和33年度当初予算決定。(一般会計1億1,264万8,140円)	8・20	八郎潟干拓起工式。
	3・31	各地区の財産区を廃止する。	9・8	海底油田掘削装置白竜号進水。
	4・1	五城目町に面潟地区の野田、岡本、浦横町、小立花、宮花が編入合併。	12・17	秋田県臨海工業地帯造成起工式。
	5・29	県知事から木工振興モデル地区の指定を受ける。		<国内外>
	6・10	役場に電話交換台を設置。	4・5	地方税法改正。(軽自動車税)
	7・1	五城目中と富津内中(西教場)が統合し、五城目一中が開校。	5・22	第28回衆議院議員選挙執行。
		家畜管理所、食肉処理加工所の事業開始。	6・22	第2次岸内閣が成立。
	7・7	昭和33年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,700円)	12・1	1万円札発行。 ※岩戸景気が始まる。
	8・31	第1回戦没者合同慰霊祭を五城目小で行う。		
	9・26	五城目地区町議会議員の再選挙執行。		
	10・3	第4代町議会議員長に猿田忠三郎氏、副議長に小玉太美雄氏就任。		
12・23	杉沢中校舎が竣工。			
昭和34年 (1959)	1・1	広報五城目創刊。		<秋田県>
	1・4	五城目警察署が細越の新庁舎に移転。	4・30	県知事小畑勇二郎氏が再選。
	1・7	五城目瀬戸座製「水注」が県重要文化財に指定。(栗山一郎氏蔵)	11・3	県章、県旗を制定。
	2・25	三早栽培講習会を開催する。	12・7	県庁舎が現在地に落成移転。
	3・24	昭和34年度当初予算決定。(一般会計1億2,811万7千円)		<国内外>
	3・27	第2代収入役に加藤己之松氏を選任。	1・1	メートル法全面实施。
	3・31	希望ヶ丘公営住宅20棟が完成。	4・9	国民健康保険法を改正。
	4・1	五城目一中が広ヶ野の新校舎に移転。 役場内に中央公民館が開館。	4・10	国民年金法を制定。
	4・18	役場庁舎を旧五城目中校舎に移転。	6・2	皇太子さまご結婚。
	5・1	五城目一中体育館が竣工。	6・18	第5回参議院議員選挙執行。
	5・3	小倉火災。住家、非住家14棟が全半焼。		第3次岸内閣が成立。
	5・5	全町統一祭典を実施。本町部は離脱。		
	6・1	第2代助役に伊藤卓治氏を選任。		
	6・4	寺庭町内会集会所が新築落成。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和34年 (1959)	6・4	県道秋田大館線モウ沢地内道路の補修工事に着手。 都市計画事業山手線事業が決定。		
	6・23	町上水道と簡易水道の特別会計を設定。		
	7・10	伊勢湾台風の豪雨による水害発生。(被害農地210.3%)		
	7・18	昭和34年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,715円)		
	8・16	全国高校レスリング大会を五城目一中体育館で開催。三笠宮殿下ご来町。		
	8・29	中央公民館が移転開館。		
	9・6	五城目消防署創設10周年。		
	11・1	国民年金制度実施。(老齢福祉)		
	11・10	第1回全町消防訓練大会を実施。		
	12・20	富津内中校舎が竣工。 ※除草剤を使用した稲作が始まる。 ※地区公民館が中心となり新生活運動が盛んになる。		
昭和35年 (1960)	1・1	馬場目地区の寺庭、中村、杉沢に町営簡易水道が通水。		
	1・15	五城目幼稚園独立園舎が竣工。	2	総合振興4か年計画を策定。
	2・19	森山のスズムシ群生地が県天然記念物に指定。	4・1	秋田放送テレビ本放送を開始。
	3・5	昭和35年度当初予算決定。(一般会計1億2,800万円)	4・17	八郎瀧西部干拓地鍬入式。
	3・10	野田火災。3棟が焼失。 食品衛生協会五城目支部が設立。(小玉正己会長、会員113人)	9・30	県産業会館が竣工。
	3・15	地方財政再建特別措置法の適用団体の指定解除。	10	小野喬氏がローマオリンピック体操個人で金メダル4個獲得。
	3・19	保呂瀬国有林野払い下げ決定。(64町4反2畝、4,800万円)		<b>&lt;国内外&gt;</b>
	3・26	町議会議員選挙執行。(大選挙区制、定員30人)	1・19	新安保条約調印。
	3・31	馬場目、富津内、内川、大川各支所を廃止。	1・24	民主社会党発足。
	4・1	大川出張所を設置。 黒土、小倉地区が富津内西小学校区に編入となる。 指定金融機関制度(金庫制度)実施。(秋田銀行五城目支店) 町政協力員制度を実施。 公民館使用料の徴収開始。	2・23	浩宮さまご誕生。
	4・4	第5代町議会議長に木村喜太郎氏、副議長に佐藤邦彦氏就任。 議員クラブが結成される。	6・1	自治省発足。
	4・10	町上水道事業を創設。	6・23	新安保条約発効。
	4・22	五城目、大川、面瀧地区を新農村地域に指定。	7・19	第1次池田内閣が成立。
	4・25	第1回全町植樹祭を兔品沢で開催。	9・5	池田内閣が所得倍増政策を発表。
	5・3	消防署屋上に気象観測所を設置。 中学校卒業生53人が県外就職。(基本給6,000円、手取り3,600円)	10・12	浅沼稻次郎社会党委員長が刺殺される。
	5・14	中川原町内から分離し館町町内会が誕生。(林崎信一会長)	10・24	衆議院解散。
	5・16	新都市計画街路山手線着工。 五城目一中管理棟が竣工。記念碑を建立。 大相撲が来町。若駒後援会結成。	11・24	第29回衆議院議員選挙執行。 ※岩戸景気続く。
	5・30	上水道起工式。		
	6・10	町農業委員選挙区を3区制に、定数は20人となる。 し尿処理事業が清掃事業の事項に追加される。 水防指定町となり水防競技会条例を制定。		
	7・15	町農業委員会委員選挙執行。		



昭和35年当時の馬川小学校校舎

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和35年 (1960)	7・26	昭和35年産米政府買入れ価格決定。(石当たり9,755円)		
	7・30	石田労働大臣が来町。		
	8・16	町商工会創立。		
	9・18	第1回全町体育祭を五城目一中グラウンドで開催。		
	9・30	新五城目町章、新五城目町民歌、五城目音頭制定。 新畑町地内の県道舗装工事が完成。		
	9	大川地区バス路線が開通。		
	10・1	国勢調査実施。(人口20,025人、世帯数3,689世帯) 拠出年金制度が始まる。 本町家具を秋田県家具東京見本市に出品。(東京都産業会館、19品)		
	10・31	町商工会が法人認可。		
	11・20	岩野山で奈良時代のマガ玉、ワラビ手太刀などを発掘。 (翌年から2年間発掘調査を実施)		
	11・30	山林野でネズミの被害甚大。ヘリコプターによる空中防除を実施。		
	12・24	森山公民館が竣工。 ※人口造林が進む。五城目町森林組合取扱量が211万4千本となる。		

昭和36年 (1961)	1・1	町上水道が通水。(通水戸数500戸) 公用文書の左横書きを実施。		<秋田県>
	1・29	NHKのど自慢中央地区予選を五城目小で開催。	5・17	秋田、釧路間定期航路開設。
	2・25	町長選挙執行。第3代町長に北島金森氏が当選。	9・26	秋田空港開港式。
	5・8	五城目森岳線県道郡境を現地調査。	10・8	第16回秋田国体が開会。
	6・30	昭和36年度当初予算決定。(一般会計1億2,916万9千円)		<国内外>
	7・11	国民年金協力員制度を設ける。	4・1	拠出制国民年金発足。
	7・20	秋田土木事務所五城目出張所が役場庁舎内に移転。	11・15	災害対策基本法制定。
	7・25	小児マヒ予防に生ワクチン投与を実施。		
	7・29	昭和36年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万322円)		
	7	消防署に火災専用電話を設置。		
	8・28	主婦の一日町長、課長体験を実施。		
	9・16	台風第18号(第二室戸台風)が接近。公共施設、建造物、農業関係に大きな被害。(被害額1,312万円)		
	9・29	県道、町道1,600本の舗装が完成。		



昭和36年当時の旧五城目消防署(川原町)

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 36年 (1961)	10・9	第16回国体レスリング大会を五城目一中体育館で開催。高松宮殿下ご来町。(～12日) 国体関連行事を開催。(10月5日、国体旗リレーが本町に入る。10月9日～12日、上町荒川マサ氏宅で物産展示会を開催。プラスバンド、鼓笛隊が町内を行進。10月7日、郷土色豊かな前夜祭を五城目小体育館で開催。民泊も実施し、旅館7軒と民家50世帯に518人が宿泊)		
	10	8mm映画町政ニュースを制作。		
	11・1	五城目、上小阿仁間のバス運行が開始。		
	11・13	馬川小学校給食室が竣工。 ※農業経営に畜産(養豚、養鶏)導入が叫ばれ、共同化も推進される。 ※商工関係では、国体を契機に共同で販売推進に力を入れる動きが高まる。 ※久保、上樋口にリンゴ10畝を新植。		
昭和 37年 (1962)	1・1	児童扶養手当法が施行。		<秋田県>
	1・10	中央公民館で第1号の公民館結婚式が行われる。	1・8	第1次秋田県総合開発計画案を公表。
	1・13	保呂瀬橋が竣工。(五城目営林署施行、470万円)		
	1・25	3歳児健康診査を実施。	4・9	秋田県開発審議会が発足。
	2・26	農協合併問題研究会が開かれる。 インフルエンザが猛威。対策会議が開かれる。		<国内外>
	3・17	昭和37年度当初予算決定。(一般会計1億3,673万円)	2・23	日ソ貿易議定書調印。
	4・1	行政苦情相談協力員を設置。(畠山元太郎氏)	4・23	米国のロケットが月の裏面に到達。
	4・26	第16回国体記念県行造林植樹祭を富津内中津又、蒙谷沢で開催。	7・1	第6回参議院議員選挙執行。
	5・23	第6代町議会議長に佐藤邦彦氏、副議長に分銅瑞惇氏就任。	7・18	改造池田内閣が成立。
	5・29	五城目新生活推進委員会が結成。	8・1	新産業都市建設促進法制定。
	5・31	町上水道が竣工。(通水戸数1,250戸、総工費5,700万円)	11・14	日英通商航海条約調印。
	6・1	社会福祉協議会に心配事相談所が開設。		
	6・15	ボランティア五城目地区会議が結成。		
	7・1	馬場目保育所を開所。		
	7・7	岩野山古墳群発掘。(～8日)		
	7・9	雀館古代井戸発掘。 内川小倉峠の石積み工事が完成。		
	7・10	町道山手線が開通。(延長1,460m、総工費2,280万円)		
	7・16	昭和37年産米政府買入れ価格決定。(石当たり11,405円)		
	7・17	日米高校レスリング大会を五城目一中体育館で開催。		
	7・29	第1回高松宮杯東北高校レスリング大会を五城目一中体育館で開催。		
	8・17	県成人病予防協会五城目支部が設立。		
	9・11	大川小給食室が竣工。		
	9・16	五城目養老院創立10周年記念式典を開催。		
11・16	杉沢へき地出張診療所が竣工。			
12・11	じん茶収集圧縮車を購入。 ※この年、中津又林道軌条を撤去し廃道とする。			



昭和37年に発掘された雀館古代井戸

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 38年 (1963)	2・5	雀館古代井戸が県史跡に指定。 岩野山古墳群が県史跡に指定。(4月2日～9日に発掘調査を実施)		<秋田県> 4・17 県知事小畑勇二郎氏が3選。 8・1 老人家庭奉仕員を設置。 11・12 八郎潟干拓、干陸排水を開始。
	2・23	馬場目小学校給食室が竣工。		<国内外> 7・18 改造池田内閣が成立。 7・20 中小企業基本法が公布施行。 10・23 衆議院解散。 11・9 国鉄鶴見衝突事故。 11・21 三井三池炭鉱ガス爆発。 11・22 第30回衆議院議員選挙執行。 ケネディ米大統領暗殺。
	3・1	第7代町議会議長に宮城精市氏就任。		
	3・27	昭和38年度当初予算決定。(一般会計1億7,354万円)		
	3・29	久保金屋座の発掘調査を実施。(～30日)		
	4・1	保健婦が常置される。		
	4・17	佐藤邦彦氏が県議会議員に初当選。		
	4・25	築地町道路の舗装が完成。(延長447m)		
	4・26	第3代收入役に館岡斌郎氏を選任。		
	5・1	県道五城目八郎潟線整備促進期成同盟会が結成。 鳥井森鈴氏の民謡碑を雀館公園に建立。		
	6・7	助役に小林源四郎氏を再任。		
	6・18	病虫害防除対策協議会が結成。		
	6・23	富津内中グラウンドが竣工。		
	7・1	農村成年の実態季節労務者34.3%。(16歳～34歳男女)		
	7・15	町農業委員会委員選挙執行。		
	7・17	昭和38年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万2,575円)		
	7・20	社会福祉協議会に善意銀行五城目支店が開設。		
	7・25	葉イモチ病が猛威。(被害面積1,200%、全体の70%)		
	8・26	集団健康診断を実施。(～9月14日、東北大山形内科)43%が高血圧症。		
	9・1	杉沢保育所、富津内保育所を開所。		
	9・15	馬場目小が東北北海道学校林コンクールで1位入賞。		
	9・26	国土調査開始。(4か年計画)		
	10・1	杉沢へき地出張診療所開設。(毎週月・土曜日、午後2時～4時) 浅見内谷地田橋が竣工。 ※冷害で稲作に大きな被害。(30%減収、被害面積470%)		
	10・20	「どぶろく」をなくす運動。		
	12・7	西野火災発生。住家、非住家3棟が類焼、母子2人焼死。 火葬場を改設。		
12・15	町上水道第1次拡張工事が完成。			
12・25	雀館運動公園第1次拡張工事が完成。			



雀館公園内に建立された鳥井森鈴民謡碑



昭和38年2月、県史跡に指定された岩野山古墳群

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 39年 (1964)	2・19	農業経営の先進地視察。(青年71人、山形・青森)		<秋田県>
	2・22	保呂瀬スノーセットが完成。	4・19	秋田経済大学開学式。
	3・5	昭和39年度当初予算決定。(一般会計1億9,755万1千円)	5・17	男鹿沖地震が発生。
	3・11	県道五城目八郎潟線直線化に着手。	7・14	寒風山に回転展望台を設置。 県鳥が「やまどり」に決定。
	3・26	町議会議員選挙執行。30人が当選。投票率は93.24%。		<国内外>
	4・1	第1次林業構造改善事業の実施地域に指定。 オリンピック記念植樹祭を開催。(五城目一中敷地内に柿、桜8,200本を植樹)	7・17	改造池田内閣が成立。
		町家畜管理所、同食肉処理加工所を廃止。 農業気象観測所を猿田俊藏氏宅に開設。	10・1	東海道新幹線が営業運転。
	4・6	第8代町議会議長に小玉太美雄氏就任。	10・10	オリンピック東京大会開催。
	4・7	町議会副議長に栗山銀之助氏就任。	11・9	第1次佐藤内閣が成立。
	4・24	農業構造改善事業構想策定委員会を開催。	11・17	公明党結成。
	5・27	第1回全町教育振興大会を開催。		
	6・10	町農業青少年育成協議会が誕生。(農業近代化ゼミナール)		
	6・14	第1回全町老人福祉大会を開催。		
	6・15	五城目小建設準備委員会が発足。		
	6・30	久保線改良工事が完成。(延長860m、幅3.6m)		
	7・2	馬場目岳登山を開催。(75人参加)		
	7・9	農業近代化学習院を開く。		
	7・11	昭和39年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万3,880円)		
	7・28	西野矢場崎道路が開通。		
	7・30	町立築地町児童館が竣工開館。		
	7・31	青少年育成強化推進大会を開催。		
	8・1	出稼ぎ相談所を開設。(出稼ぎブーム)		
	8・11	大川小簡易プールが竣工。		
	8・13	集中豪雨が町を襲う。(被害額2億7千万円)		
	9・10	富津内小給食室が竣工。		
	10・4	ボーイスカウト秋田第30団が結成。		
10・22	馬場目中が学校林東北北海道造林コンクールで農林水産大臣賞を受賞。			
10・29	町塵芥処理場が竣工。			
11・2	第1回五城目町物産展を秋田県民会館で開催。(～17日、出品数1,096点)			
11・12	五城目小創立90周年記念式典を挙行。			
11・17	寄生虫卵検査を15歳以上の全町民に実施。(有卵者49.9%)			
11・30	町内小学校用社会科副読本「わたしたちの五城目町」が発刊。			
12・10	町上水道第2次拡張工事が竣工。 (総工費3,500万円)			
12・15	久保橋が竣工。 (長さ50.6m)			



昭和39年ころの難所割山峠

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 40年 (1965)	2・10	町長選挙執行。第4代町長に小林源四郎氏が当選。投票率は89.92%。		<b>&lt;秋田県&gt;</b>
	3・12	第3代助役に小林寛秀氏を選任。	1・17	第3日曜日を「家庭の日」に。
	3・16	統合小学校の敷地問題から、馬川地区住民が児童の登校拒否を実施。	8・29	この日を「県の記念日」と定める。 (廃藩置県)
	3・21	館越地区でビニールハウスなど新しい営農への取り組みが始まる。	11・1	秋田湾地区を新産業都市に指定。
	3・25	農村地域集団電話が開通。(富津内・内川地区、東北では4番目)	12・31	秋田市電が姿を消す。
	3・27	昭和40年度当初予算決定。(一般会計2億2,177万1千円)		<b>&lt;国内外&gt;</b>
	3・31	町村合併10周年記念式典を挙行。	4・2	日ソ漁業交渉調印式。
	4・1	五城目地区少年保護育成運営委員会が発足。 全町老人クラブ(五老連)が結成。	5・11	山村振興法が制定。
	4・7	平ノ下火災発生。住家5棟、非住家2棟が全焼。	6・3	改造佐藤内閣が成立。
	4・14	大川寺小路火災発生。住家10棟、非住家3棟が被災。	6・22	日韓基本条約に正式調印。
	4・19	全町植樹祭を富津内小嵐山で開催。	7・4	第7回参議院議員選挙執行。
	4・24	社会教育大会を開催。	11・19	政府財政処理で赤字国債発行を決定。
	5・10	真崎堰改修工事の起工式。(総工費1億6千万円)	12・17	日中漁業協定を北京で調印。
	6・20	町農協青年部が設立。		
	6・24	富津内落合火災発生。住家、非住家8棟が全焼。		
	7・22	昭和40年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万5,570円)		
	7・30	杉沢発電所の起工式。(総工費4億8千万円) 森山マイクロウェーブ工事が着工。		
	8・1	高千線のバス運行が開始。		
	8・4	五城目一中プールが竣工。		
	9・10	台風第23号が接近。本町に大きな被害。(被害額7,400万円)		
	10・1	国勢調査実施。(人口18,862人、世帯数3,765世帯)		
	11・6	第1回五城目、上小阿仁間親善駅伝大会を開催。		
	11・7	五城目ロータリークラブの認証式。		
	11・17	富津内西小学校少年赤十字団を結成。		
	11・20	古川町道路舗装が完成。(延長213m)		
	12・15	高崎火災発生。住家、非住家4棟が被災。		
12・23	五城目養護老人ホームを設置。(養老院からの変更)			
12・25	町立雀館児童館が竣工。			
昭和 41年 (1966)	1・17	町立雀館児童館が開館。		<b>&lt;秋田県&gt;</b>
	1・29	町観光協会が発立発足。	2・1	羽越、奥羽本線の複線工事を開始。
	2・1	森山簡易郵便局が開設。	3・20	NHK秋田がカラー放送を開始。
	2・18	五城目統合小学校(五城目小、馬川小)建設を議決。	4・1	全県11か所に広域農業改良普及所を設置。
	2・28	町献血推進協議会が発足。	5・20	八郎潟中央干拓地で初の種まき。
	3・15	馬場目中の全国学校林コンクール3年連続入賞を記念し、記念塔を建立。	6・7	男鹿金ヶ崎有料道路が完成。
	3・24	昭和41年度当初予算決定。(一般会計2億9,906万6千円)	10・17	県営萩形ダムが完成。
	3・30	五城目能代線が主要地方道に認定。	11・10	八郎潟干拓第1次入植者の研修所が開所。



昭和40年代の市日



昭和40年代の雀館公園さくらまつり



年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 41年 (1966)	3・31	町内5農協が合併し「五城目町農業協同組合」が発足。本所を役場内に置く。	12・6	県営杉沢発電所が送電を開始。
	4・1	富津内東小学校給食室が竣工。 五城目小と馬川小が統合。それぞれ分校舎となる。 町火災予防組合が結成。(北嶋諒一会長)	2・4	全日空機が羽田沖に墜落。133人が死亡。
	4・11	第9代町議会議長に小玉太美雄氏就任。	4・1	メートル法を完全実施。
	4・14	町議会副議長に坂谷市右衛門氏就任。	4・14	日ソ漁業交渉をモスクワで調印。
	4・21	馬川学区住民が「町立学校条例」一部改正と「学校を重要施設に」という条例制定の2件を直接請求。議会で否決される。	6・25	建国記念日を祝日に追加。
	5・7	富田火災発生。住家、非住家27棟が全焼。(損害額3,600万円)	8・1	改造佐藤内閣が成立。
	5・16	高崎、上樋口、湯ノ又に簡易郵便局が開設。	8・20	中国で文化大革命が発生。
	5・21	国道7号八郎瀧バイパスが開通。	12・3	改造佐藤内閣が成立。
	6・1	町行政事務処理改善委員会を組織。窓口事務の改善に着手。	12・27	衆議院解散。
	6・8	第1回歩こう会を開催。		
	6・13	町農業委員会の定数を20人から17人に改定。		
	6・30	都市計画街路上町線の工事に着工。常演寺が移転。		
	7・16	臨時議会で、統合小学校を白紙とし、五城目小は単独で山手へ建設、馬川小は従前どおり存置を決定。		
	7・20	昭和41年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万7,340円)		
	10・1	町交通指導隊が発足。		
	11・21	五城目幼稚園を旧五城目小跡地に移転開設。 五城目橋が竣工。		
	12・2	ごみ処理の一部を民間業者に委託する。		
	12・6	県営杉沢発電所が運転を開始。		
	12・25	町立馬場目児童館が竣工。		
	12・27	五城目八郎瀧間県道直線化工事が完成。 ※この秋、八郎瀧地先干拓東部第5工区(大川地先)の干拓が終わる。		
				 <p>昭和41年3月31日、五城目町農業協同組合が発足</p>
昭和 42年 (1967)	1・6	下山内火災発生。住家1棟が全焼。		＜秋田県＞
	1・14	湯ノ又火災発生。住家1棟が全焼。	4・30	県知事小畑勇二郎氏が4選。
	2・27	菅江真澄の自筆稿本「玉勝間拾珠抄」が伊藤源一郎氏宅で発見される。	5・5	県立美術館「平野美術館」が開館。
	3・10	昭和42年度当初予算決定。(一般会計3億1,333万2千円)	5・10	県が新産業都市建設の実施計画をまとめる。
	3・25	町表彰条例を制定。	10・21	県立男鹿水族館が完成。
	3・31	五城目小第1期工事で3階1棟12教室が竣工。 館越地区に農業近代化パイロット事業でビニールハウスが完成。		＜国内外＞
	4・1	五城目小と富津内西小が統合。それぞれ分校舎となる。 五城目一中と内川中が統合。	1・29	第31回衆議院議員選挙執行。
	6・9	森山にマイクロウェーブ中継所が竣工。	2・17	第2次佐藤内閣が成立
	7・24	内川小給食室とプールが竣工。	8・1	道交法改正で反則金制度を設定。
	7・26	昭和42年産米政府買入れ価格決定。(石当たり1万8,980円)	11・25	改造佐藤内閣が成立。
	7・29	馬場目小プールが竣工。		
	8・8	馬場目沢国有林火災発生。杉などが焼失。(損害額1,000万円)		
	9・1	浦横町簡易郵便局が開設。		


年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和42年 (1967)	11・2	町農協第1回農業祭が開催。		 <p>森山の麓に建つ五城目小</p>
	11・3	第1次石崎遺跡発掘調査を実施。(～11日)		
	11・10	町功労者 渡辺彦兵衛氏(自治、産業)、坂谷八十治氏(自治、産業)		
	11・15	第1回青年議会が開催。		
	12・10	消防署に消防無線電話を設置。		
	12・16	町議会議員の定数を30人から24人に変更。		
	12・27	小倉碎石場を開設。		
昭和43年 (1968)	3・1	町立内川児童館が竣工開館。		<p>&lt;秋田県&gt;</p> <p>2・23 秋田県消防学校が竣工。</p> <p>5・24 「国民の森」が秋田市仁別に開園。</p> <p>6・14 八郎潟干拓の大潟村で58戸の入村式。</p> <p>10・8 県立体育館が完成。</p> <p>&lt;国内外&gt;</p> <p>5・8 厚生省がイタイイタイ病を公害病と認める。</p> <p>5・13 ベトナム和平公式会談がパリで開催。</p> <p>5・30 消費者保護法を制定。</p> <p>6・15 都市計画法を制定。</p> <p>6・29 小笠原諸島が29年ぶりに日本へ復帰。</p> <p>7・1 交通反則通告制度、郵便番号制が発足。</p> <p>7・7 第8回参議院議員選挙執行。</p> <p>11・30 改造佐藤内閣が成立。</p> <p>12・10 3億円強奪事件が発生。</p>
	3・9	昭和43年度当初予算決定。(一般会計4億4,367万7千円)	2・23	
	3・27	町議会議員選挙執行。投票率は92.82%。	5・24	
	3・31	五城目小第2期工事で2階1棟と管理棟が竣工。	6・14	
	4・1	事務改善伝票会計が発足。 役場の機構改革で27係を16係に。 五城目小分校舎、富津内西小分校舎を廃止し、新校舎に移転。	10・8	
	4・3	第10代町議会議長に工藤孝二氏、副議長に荒川豊治氏就任。	5・8	
	4・29	明治100年記念植樹を実施。	5・13	
	6・1	岩野住宅から岩城町町内会が誕生。	5・30	
	6・2	初の誘致企業、秋田末広繊維工業(株)五城目工場が操業開始。	6・15	
	6・18	商工青年学級が発足。	6・29	
	6・30	第7回全県中学校選抜剣道大会を五城目高体育館で開催。	7・1	
	7・30	第1次農業構造改善事業の実施地域に指定。 町上水道第3次拡張工事が竣工。(通水戸数2,129戸、総工費1,500万円)	7・7	
	8・9	全県消防大会を五城目一中体育館で開催。	11・30	
	8・10	富津内脇乙地区に簡易水道を新設。	12・10	
	8・13	第4代助役に館岡斌郎氏を選任。		
	8・15	第1回新成人のつどい(成人式)を開催。		
	8・20	第4代收入役に若松正氏を選任。		
	8・21	昭和43年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万220円)		
	9・1	「交通安全都市宣言」の町に決定。		
	9・14	高千町内会テレビ聴取共同アンテナが竣工。		
	9・18	畑町老人クラブが「十三騎さん」慰霊碑、詞堂を建立。		
	9・24	湖東病院が移転竣工。(八郎潟町川崎)		
	9・27	交通安全都市を宣言。		
	11・1	母子栄養食品の無料支給が開始。 振興山村農林漁業特別開発事業が開始。		
	11・23	西野町内の町道改良工事が竣工。		
12・14	町功労者 渡辺綱彦氏(自治、文化、産業) 五城目小が新築竣工。 五城目一中増築工事竣工式を実施。			
12・25	消防署が新築移転竣工。 老人ホームが新築移転竣工。(定員50人)			
				 <p>初の誘致企業秋田末広繊維工業(株)五城目工場</p>



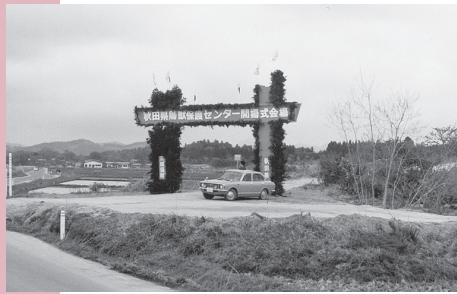
年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和44年 (1969)	1・18	第13回青年問題研究集会を五城目小で開催。		<秋田県>
	1・23	町立養護老人ホーム、町消防庁舎、町立富津内児童館、富津内公民館の合同竣工式を実施。	3・23	八郎瀧干拓工事の完工式を挙る。
	2・20	町長選挙執行。第5代町長に加賀谷力司氏が当選。投票率は88.49%。	8・2	秋田農業大博覧会を開催。
	2・24	五城目電報電話局が竣工。自動ダイヤル化に。	8・25	天皇皇后両陛下が農業博覧会県下ご視察のためご来県。
	3・27	五城目森林組合が発足。(五城目町森林組合へ八郎瀧町森林組合を吸収合併)	10・1	秋田テレビの放送が開始。(UHF)
	3・28	五城目地区、馬場目地区に農集電話が開通。	12・22	秋田県田沢湖スキー場を設置。
	3・30	昭和44年度当初予算決定。(一般会計4億1,505万4千円)		<国内外>
	4・1	五城目一中と馬場目中が統合。「町内用たし運動」を実施。	5・3	東名高速道路が全通。
	5・8	農業近代化ゼミナールが開講。	5・16	自主流通米制度が発足。
	5・11	恋地上部婦人消防隊が結成。	7・20	米宇宙船アポロ11号が月面に到達。
	5・14	町芸術文化協会が発足。	11・22	佐藤、ニクソン会談で沖縄返還を共同声明で発表。
	5・15	五城目神社で番楽競演会を開催。	12・2	衆議院解散。
	6・21	昭和44年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万225円)	12・27	第32回衆議院議員選挙執行。
	7・10	秋田中央交通五城目軌道廃止で「軌道をしのぶ会」を開催。		
	7・28	率浦大学を開講。		
	7・30	富津内、内川にイモチ病航空防除を実施。		
	8・1	五城目「青年音頭」完成。(作詞 三浦清三郎氏、作曲 伊藤義男氏)		
	9・1	町内家庭と役場を結ぶ専用電話「3711電話」を開設。		
	9・11	馬場目小給食室が竣工。		
	9・16	五城目小に軌道電車が寄贈。		
	9・22	富津内東小を富津内小学校に改称。(議決)		
	10・10	体力づくり優良組織町として全国表彰。		
	10・26	第1回町スポーツ少年大会を開催。		
	11・8	全県消防長会議を五城目消防署で開催。		
11・17	第1回青少年健全育成大会を開催。			
11・18	町養護老人ホーム森山荘の庭園が竣工。			
12・19	集落再編成促進条例を制定。下北口、大場、滝ノ下の移転を進める。			
昭和45年 (1970)	1・1	警察署と防犯組合で町内に防犯連絡所を設置。		<秋田県>
	2・10	米の生産調整が始まる。(推進部落座談会を開催)	4・1	出稼ぎ対策室を設置。
	2・16	町総合開発計画を策定。	5・15	新設秋田大学医学部の入学式を挙る。
	2・28	馬川小本校舎が全焼。(損害額約2,000万円)	8・2	秋田湾地区が国の大規模工業開発地域に。
	2	第1回住民の健康を守る研究協議会が開催。	9・18	田沢湖駒ヶ岳が38年ぶりに噴火。
	3・2	馬川小児童が五城目小で正常授業を開始。	10・25	皇太子ご夫妻がご来県。
	3・20	昭和45年度当初予算決定。(一般会計5億240万9千円)	12・17	男鹿大棧橋有料道路が完成。
		交通指導隊条例を制定。指導隊が制度化。	12・20	県営田沢湖スキー場完工式を開催。
	3・27	財団法人五城目町開発公社が設立認可。		<国内外>
	3・31	町村合併15周年記念式典を挙る。	1・14	第3次佐藤内閣が成立。
		渡辺彦兵衛氏に名誉町民の称号を与える。(昭和47年9月29日逝去)		根本龍太郎氏が建設大臣となる。
		町功労者 鳥井忠治氏(自治)、畠山松太郎氏(自治)、猿田忠三郎氏(自治)、笹尾長氏(保健)、宮城精市氏(自治、民生)、鳥井儀助氏(学術文化)、畠山鶴松氏(郷土芸能)	3・11	全国新幹線鉄道整備法案の要綱が決定。
	高千橋が竣工。	3・14	日本万国博を大阪で開催。	



昭和44年に廃止された五城目軌道

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 45年 (1970)	4・1	富津内東小を富津内小に改称。 県道秋田森吉間が国道285号線に昇格。 五城目小と馬川小が統合。 ごみ処理方法をポリ袋、標せん方式に改善。 貯蓄運動推進協議会が発足。 広報ごじょうめの発行を毎月1日と15日の2回に。 公民館の機構改正。五城目公民館と分館に改称。	3・31	日航「よど号」ハイジャック事件が発生。
	4・17	ホテル研究会が発足。	4・3	農業者年金基金法が成立。
	4	五城目町外3か町村伝染病隔離病舎を新築。	6・22	日米安保条約固定期限が切れ、自動延長となる。
	6・5	新町火災発生。住家、非住家14棟が全焼。(損害額5,400万円)	12・25	水質汚濁防止法が制定。 廃棄物の処理及び清掃に関する法律が制定。
	6・20	昭和45年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万380円)		
	7・27	第11代町議会議長に菊地耕二氏、副議長に畠山豊氏就任。		
	8・6	昭辰橋永久橋が竣工。五城目幼稚園児75人が渡り初め。		
	8・10	富津内小プールが竣工。		
	8・21	五城目小プールとグラウンドが竣工。		
	9・6	五城目小グラウンドが完成し全町体育祭を開催。竣工式とする。		
	9・8	子どもの遊び場開き。(神社、寺院など5か所)		
	9・19	町商工会創立10周年記念式典を挙げる。		
	10・1	国勢調査実施。(人口17,415人、世帯数3,900世帯)		
	10・9	出稼ぎ互助会制度が発足。		
	10・24	西野橋が竣工。		
	10・31	五城目一中第二体育館が竣工。		
	11・3	町功労者 渡辺道蔵氏(自治)、児玉孫左衛門氏(自治)、田口耕市郎氏(保健)、大村仙福氏(民生、福祉)		
	11・6	本町で第93回秋田県種苗交換会を開催。(～11日、参観者37万2千人)		
12・28	社会福祉法人五城目町社会福祉協議会が発足。 ※この年、内川大場、滝ノ下集落が集団移転により廃村となる。			
				
				完成間もない五城目小グラウンドで開催された全町体育祭
				
				第93回秋田県種苗交換会に訪れる人の波
昭和 46年 (1971)	1・1	農業者年金制度が発足。		
	2・1	第5代助役に伊藤卓治氏を選任。		
	3・22	馬場目北ノ又分校の廃校式を行う。	1・16	<秋田県> 県青年の家、青年会館の完成落成式。
	3・24	昭和46年度当初予算決定。(一般会計5億6,243万円)	2・19	第26回国民体育大会冬季大会スキー競技会が田沢湖スキー場で開催。
	3・31	岩野橋(1、2、3号)が竣工。	4・1	県立中央病院が国へ移管。
	4・1	五城目幼稚園と富津内西幼稚園が統合。 町公民館馬川分館が誕生。 農業公害をなくすため、BHC剤、DDT剤、有機水銀剤の使用を規制。 「清掃デー」を設定。全町一斉の環境美化を進める。	4・11	県知事小畑勇二郎氏が5選。
	4・14	県議会議員選挙で佐藤邦彦氏が当選。	8・29	立県100年記念式典を挙げる。
	4・20	社会福祉法人五城目町社会福祉協議会の事務局が発足。		<国内外> 2・22 新国際空港公団が成田建設予定地の代執行に着手。
	5・14	昭和46年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万1,205円)	6・17	沖縄返還協定に調印。
			6・27	第9回参議院議員選挙執行。
		8・15	米国が厳しいドル防衛策を発表。	

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
昭和 46年 (1971)	6・1	良質米生産集団のほう賞制度を実施。	8・26	ニクソン・ショックにより東京株式市場で大暴落。	
	6・9	新町火災発生。7棟が全焼。	12・20	円の切上げを実施。	
	6・10	山村振興区画整理事業を着工。 台御蔵下テレビ塔が竣工。			
	6・30	浦横町簡易水道が竣工。			
	7・1	国保保険医が総辞退する。			
	7・8	田町、広ヶ野で「ほたるまつり」を開催。			
	7・15	馬場目川に稚アユを放流。			
	7・30	富津内落合簡易水道が竣工。			
	8・10	第1回「こどもの祭典」を実施。			
	9・7	五城目営林署杉沢森林鉄道が廃止。30年の歴史を閉じる。			
	9・11	町農協大川低温倉庫が竣工。			
	9・13	敬老善行者7人を表彰。(この年から)			
	9・23	馬場目放送局(NHK、民放)がUHFで放送開始。			
	9・30	下樋口生活近代化パイロット総合センターが竣工。			
	9	国道285号落合地区の改良が完成。 五城目森岳間道路の改良が完成。			
	10・1	五城目一中で給食開始。(町内小中学校で100%給食実施)			
	10・15	田んぼでの稲わら焼却が公害問題化。			
	10・30	馬場目、富津内、内川でイモチ病や冷害により稲作に大被害。(被害額3億6千万円)			
	11・3	鳥井森鈴氏が県文化功労者として表彰。 町功労者 小林源四郎氏(自治)、阿部久之助氏(自治、民生)、分銅瑞惇氏(自治、教育)			
11・15	五城目保育園が設立認可。				
11・19	秋田周辺広域市町村圏促進協議会が発足。				
11	石井金之助氏が現代の名工(卓越した技能者)に。				
				 <p>七夕の夜を彩る子どもたち手作りの絵灯ろう</p>	
				 <p>30年の歴史を閉じる杉沢森林鉄道</p>	
昭和 47年 (1972)	2・1	富津内、落合、脇乙、台御蔵下地区基盤整備事業が竣工。(19%)			
	2・13	恋地国設スキー場が開設。			
					 <p>恋地国設スキー場が開設</p>
	3・10	町文化財保護に関する条例を制定。 町建築協定条例を制定。 町中小企業振興融資斡旋に関する条例を制定。 昭和47年度当初予算決定。(一般会計6億7,397万3千円)			
	3・26	町議会議員選挙執行。24人が当選。投票率は92.7%。			
	3・31	五城目地区農免道路が竣工。(総延長3,500m、総工費5,300万円) 富田橋、岩城橋が竣工。 電報電話局前に公衆便所が完成。			
	4・1	社会福祉法人五城目保育園が開園。 町単独の児童扶養制度が発足。(1歳未満の乳児に医療費を給付)			
	4・10	第12代町議会議長に菊地耕二氏、副議長に宮田清三郎氏就任。			
					<p><b>&lt;秋田県&gt;</b></p> <p>4・1 県生涯学習推進本部発足。 5・12 県立点字図書館が開館。 7・15 県立野球場、温水プールが落成。 10・2 羽越線秋田新潟間が電化。 11・27 東北縦貫自動車道の本県ルートが決定。</p> <p><b>&lt;国内外&gt;</b></p> <p>2・3 札幌第11回冬季五輪を開催。 5・15 沖縄が返還。県としてスタート。 7・7 第1次田中内閣が成立。 9・29 日中国交が正常化。 10・28 中国からパンダが到着。 11・13 衆議院解散。 12・10 第33回衆議院議員選挙執行。 12・22 第2次田中内閣が成立。</p>

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 47年 (1972)	5・4	郡境の部分林630㍓植林達成を記念し、「空に青雲、山々緑」の記念碑を建立。除幕式を実施。		
	7・5	豪雨により公共施設や農地に大被害。(被害額2億5千万円)		
	7・15	太平洋国立自然公園が指定。9番目の県立自然公園が誕生。		
	8・1	枝打ち間伐補助事業を開始。		
	8・3	昭和47年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万2,200円)		
	8・4	稲の病害虫航空防除を実施。		
	8・11	五城目小柔剣道場が竣工。		
	8・15	消防署に救急車を配置。救急車による救急業務を開始。		
	9・1	北北口町内に簡易水道が新設、通水。 秋田周辺広域市町村圏が設定。		
	9・14	町職員の定数を改正。(176人→190人) 脇乙生活総合センターを建設。		
	11・3	町功労者 椎名秋一郎氏(自治)、伊藤尚三氏(自治)、小熊広保氏(自治、産業)		
	11・5	第2次石崎遺跡の発掘調査を実施。(～14日)		
	11・23	五城目一中体育館で「ふるさとの歌まつり」を開催。		
	12・22	町商工会館が竣工。 千日火災発生。住家、非住家6棟が全半焼。		
12・31	富津内下北口集落が集団移転により廃村となる。			
昭和 48年 (1973)	1・1	70歳以上の医療費無料化を実施。		
	2・19	町長選挙執行。第6代町長に加賀谷力司氏が無投票当選。	5・30	県立農業短大の開学式。
	3・24	昭和48年度当初予算決定。(一般会計8億2,370万円) 秋田周辺広域市町村圏協議会が設置。	9・1	秋田市大森山動物園がオープン。
	3・31	農村地域整備促進対策事業の実施地域に指定。		<b>&lt;国内外&gt;</b>
	4・1	第5代收入役に若松正氏を選任。 児童手当の支給制度を実施。 乳幼児(2歳未満)の医療費給付制度を実施。	4・12	祝日法が改正。休日振り替え公布。
	5・10	岩野山保健保全林に秋田県鳥獣保護センターが竣工。常陸宮殿下、同妃殿下を迎え開場。	10・26	日本登山隊がエベレスト登頂に成功。
	6・1	富津内地区が県単モデルコミュニティ地区に指定。	11・14	関門橋が開通。(1,068㍓)
	7・29	記録的な日照りが続き干ばつに。(月間降水量6月39㍓、7月73㍓※29日まで11㍓)		
	8・1	町内、集落担当連絡員を設置。		
	8・10	昭和48年産米政府買入れ価格決定。(石当たり2万5,545円)		
	8・11	五城目一中男子バスケットボール部が東北大会で優勝。 五城目小児童野球が全県大会で優勝。		
	8・20	山内番楽ほか9件を町文化財に指定。		
	8・24	広域基幹林道五秋線(台御蔵下～黒川)の起工式を実施。		
	10・17	大瀧村の入植者募集が始まる。 鷲谷たまこさん(大川小6年)が秋田県一の優良健康児に。		
	10・27	第3次石崎遺跡の発掘調査を実施。(～11月15日)		
	11・3	町功労者 石川兼吉氏(民生、青少年)、千田石五郎氏(郷土芸能)、小野文子氏(社会教育)		
	12・15	町都市計画事業磯ノ目地区土地区画整理事業が認可。		
	12・18	五城目地区農免道路のバス運行が開始。		
	12・26	職員の特種勤務手当に関する条例を制定。		
	12・29	五城目高改築促進協議会が発足。 ※この年、生きがい教育パイロットに指定。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 49年 (1974)	1・1	町都市計画事業磯ノ目地区土地区画整理事業の事業計画を決定。(総事業費1億6千万円、期間～昭和58年3月31日)	1・12	<秋田県> 大関清国が引退表明。
	1・5	五城目高校舎改築対策協議会推進委員会が発足。	3・1	鳥海山が153年ぶりに噴火。
	1・19	馬川神社建て替えのため遷宮の儀式が行われる。	6・1	井川町が発足。
	1・26	記録的豪雪で全町交通機関がまひ。町内小中学校が臨時休校となる。		<国内外>
	2・5	記録的な豪雪のため豪雪対策本部を設置。豪雪非常事態防災を宣言。	1・26	天皇皇后両陛下下金婚式。
	2・23	町農業協同組合農協会館が竣工。	3・10	旧日本兵の小野田寛郎さんをルパン島で発見。
	3・30	昭和49年度当初予算決定。(一般会計11億1,700万円)	3・15	新関門トンネルが貫通。(18,713米)
	3・31	大川四ツ屋橋、館越橋、帝釈寺橋、門前橋が竣工。 五城目一中第三体育館が竣工。 大川中を廃校。大川幼稚園を廃園。 第2次町総合発展計画を策定。	7・7	第10回参議院議員選挙執行。
	4・1	五城目一中と大川中が統合。 大川保育園が開園。 町部制設置条例を制定施行。(総務部、企画部、民生部、産業部、建設部) 生涯教育モデル地域に指定。 町農業指導センターを設置。	9・1	原子力船「むつ」で放射能漏れ事故が発生。
	4・10	第13代町議会議長に菊地耕二氏、副議長に齊藤三四郎氏就任。	10・9	佐藤栄作前首相のノーベル平和賞受賞が決定。
	4・21	五城目小同窓会設立総会を開催。	11・11	改造田中内閣が成立。
	5・17	第12回技能五輪全国大会機械製図の部で児玉俊博氏が優勝。	12・9	田中内閣が総辞職。三木内閣が成立。 佐々木義武氏が科学技術庁長官に就任。
	5・19	杉沢中、馬場目小が学校林全国コンクールで準特選に入選。		
	6・20	水槽付き小型ポンプ自動車を購入。		
	6・21	町消防100周年記念総合防災訓練を実施。		
	7・1	高額療養費支給制度が実施。		
	7・9	高齢者を対象にゲートボール講習会を開催。		
	7・16	第1回老人スポーツ大会を開催。		
	7・21	第1回鷹巣、五城目交歓スポーツ大会を開催。		
	7・25	昭和49年産米政府買入れ価格決定。(石当たり3万3,752円)		
	7・26	第1回社会福祉大会を開催。		
	7・29	第3次岩野山古墳群の発掘を実施。(～8月7日)		
	8・2	町上水道第4次拡張工事に着工。(総工費1億7千万円)		
	8・12	昭辰子ども園が開園。		
	8・21	米国からジャン・マンデイルさんが五城目高に留学。		
	8・27	町木材工業総合団地化推進協議会が発足。		
	9・1	福祉バス「森山号」がスタート。		
	10・19	五城目小創立100周年式典を実施。		
11・1	湖東病院を湖東総合病院に改称。			
11・3	町功労者 石井金之助氏(産業)			
11・10	全国青年大会で富津内青年会が演劇優秀賞、馬場目青年会が合唱努力賞を受賞。			
11・12	町開発センター、広城市町村圏五城目体育館の起工式を実施。			
12・16	青色申告の町を宣言。			
12・31	小倉採石場を廃止。			



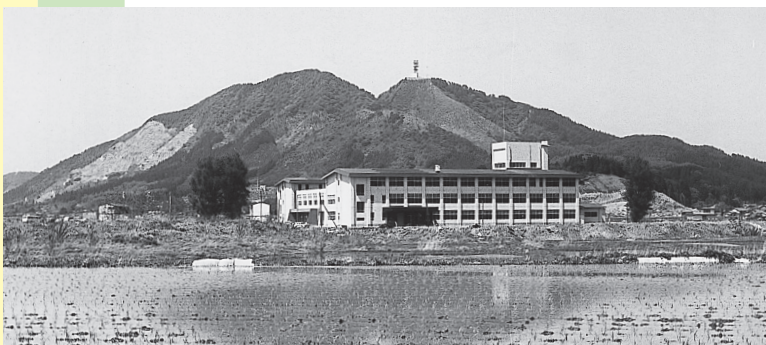
49年豪雪(古川町付近)





五城目町消防100周年記念総合防災訓練

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
昭和 50年 (1975)	1・18	五卓会結成20周年記念木村興治卓球教室を開催。(～19日)		<秋田県>	
	1・19	町木材工業総合産地化基本構想を設定。	4・13	県知事小畑勇二郎氏が6選。	
	1・27	第6代助役に伊藤卓治氏を選任。	5・10	県立博物館が一般公開される。	
	2・25	馬場目小学校創立100周年記念式典を実施。	11・25	奥羽本線の全線電化がスタート。	
	3・10	特別急行いなほ号の八郎潟駅停車が決まり、出立式を挙行。		<国内外>	
	3・12	一番町商店会が結成。	4・30	ベトナム30年戦争が終結。	
	3・20	昭和50年度当初予算決定。(一般会計17億8千万円)	6・5	スエズ運河が8年ぶりに再開。	
	3・31	中屋敷橋が竣工。 五城目町史を発行。	6・6	田中金脈で参院決算委が内閣へ警告決議。	
	4・1	一般県営林道湯ノ又線に着工。	7・19	沖縄海洋博が開幕。	
	7・14	農村総合整備モデル事業を採択。(総事業費10億5千万円)			
	7・15	町農業委員会選挙執行。			
	7・22	昭和50年産米政府買入れ価格決定。(石当たり4万1,760円)			
	8・16	大手警察官駐在所が完成。			
	9・1	福祉手当支給制度が創設。(福祉事務所)			
	10・1	国勢調査実施。(人口1万6,582人、世帯数3,955世帯)			
	11・1	磯ノ目地区土地区画整理事業に着手。			
	11・8	町農業協同組合合併設立10周年記念式典が開催。			
	11・23	町躍進20周年記念式典を開催。(合併20周年、町開発センターと秋田周辺広域市町村圏五城目体育館竣工を記念) 名誉町民 坂谷八十治氏、渡辺綱彦氏 町公民館事務室を広域五城目体育館へ移転。			
	12・7	町民センターで結婚式第1号。(伊藤次男さん、時子さん)			
	12・25	町上水道第4次拡張工事が竣工。(給水人口1万2千人、総工費1億6,400万円、1日当たりの給水能力4,800立方メートル) ※町若妻連絡協議会が設立。			
					
			建設中の町民センターと広域五城目体育館		
昭和 51年 (1976)	1・7	湯ノ又地区土地改良工事が竣工。(57.8㌔、総工費1億3,500万円)		<秋田県>	
	1・25	町連合青年会設立20周年記念式典を挙行。	10・27	八郎潟干拓、新農村建設完工式を実施。	
	3・11	昭和51年度当初予算決定。(一般会計18億1千万円)		<国内外>	
	3・25	神明前公営住宅8棟が完成。	5・23	参議院議員補欠選挙執行。	
	3・26	町議会議員選挙執行。現職13人、元職3人、新人8人の24人が当選。投票率は92.65%。	7・27	田中前首相が逮捕。	
	3・31	富津内地区コミュニティセンターが竣工。	9・15	改造三木内閣が成立。 石田博英氏が運輸相に就任。	
	4・1	町農業協同組合と各支所を町の収納代理金融機関に指定。	12・5	第34回衆議院議員選挙執行。	
	4・10	第14代町議会議長に佐々木輝雄氏、副議長に畠山勘五郎氏就任。	12・24	第1次福田内閣が成立。 石田博英氏が労相に就任。	
	5・23	富津内小が全国学校林コンクール造林の部で入選。			
	6・1	中核林業振興地域特別対策事業地域に指定。			
	7・15	大川音頭が誕生。			
	7・22	昭和51年産米政府買入れ価格決定。(石当たり4万1,080円)			
	8・3	五城目一中男子バスケットボール部が東北選抜大会で優勝。			
8・7	高千町内会二ノ沢県行造林地内に永久林が設定。				
					
			馬場目小学校創立100周年記念式典		
					
			町民センター結婚式第1号の伊藤さん		

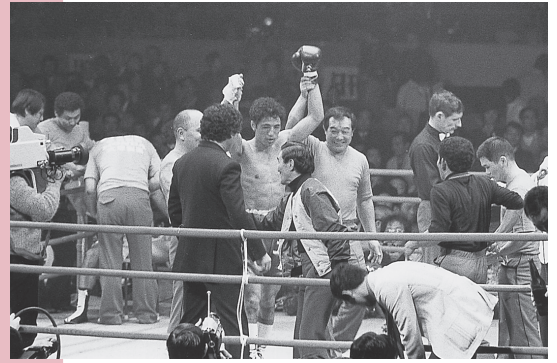
年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和51年 (1976)	8・16	五城目一中男子バスケットボール部が全国大会で第5位に入賞。		
	9・1	稲の出穂が平年より10日以上遅れ。冷害対策本部を設置。		
	9・10	富津内小学校創立100周年記念式典を実施。		
	9・11	五城目婦人会創立30周年記念式典を実施。		
	9・25	蓬内台生活総合センターが竣工。		
	10・2	川端会館が竣工。(建設 老人が明日の夢を育てる会)		
	10・31	農村総合整備モデル事業高千農村公園新設工事が竣工。(1,777.5平方m)		
	11・2	都市計画公園雀館公園築造工事が着工。		
	11・3	町功労者 阿部徹英氏(自治)、渡辺時治氏(民生、保健)、館岡斌郎氏(自治、産業)、佐藤勝太郎氏(体育)		
	11・13	町、農協、商工会の三団体による統一産業祭「第1回五城目町産業文化祭」を開催。		
11・25	中核林業振興地域に指定。			
12・8	大川小創立100周年記念式典を実施。			
昭和52年 (1977)	1・25	健康大学の開講式を開催。		
	1・27	豪雪対策本部を設置。		
	2・20	町長選挙執行。第7代町長に加賀谷力司氏が無投票当選。	3・10	県総合庁舎に地方部の新設決定。
	3・23	第6代収入役に千田金之助氏を選任。	3・31	八郎瀧干拓事業が全面完工。
		昭和52年度当初予算決定。(一般会計20億8,800万円)		<国内外>
	3・31	森山森林公園が完成。	7・10	第11回参議院議員選挙執行。
		如来寺が移転改築。	8・10	北海道有珠山が噴火。
	4・1	曙町町内会が誕生。(泉谷一郎会長)	9・3	巨人軍の王選手が756号ホームラン世界新記録。
	5・3	名誉町民の坂谷八十治氏を広域五城目体育館で町葬。	11・28	改造福田内閣が成立。
	5・25	民生委員制度創立50周年記念植樹を森山森林公園で実施。		
	5・31	谷地中高齢者集会室が完成。		
	6・15	新観光秋田30景で森山森林公園が第6位に。		
	6・25	森林組合青年部が成立。		
	6・28	秋田・五城目連絡峰越林道開通竣工式を挙げる。		
	7・7	町生活改善センターが竣工。		
	7・26	岡本2区公民館が完成。		
	7・30	昭和52年産米政府買入れ価格決定。(石当たり4万2,715円)		
8・6	五城目一中簡易プールが竣工。			
8・19	町民センターの彫刻「森の精」が完成。			
8・22	五城目高が大川西野字田屋下へ移転。			
8・30	町農協富津内低温倉庫が竣工。			
9・1	町交通安全母の会連合会が発足。			



新設された五城目高校

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと			
昭和 52年 (1977)	9・12	千種光照さん、一重さんが森山頂上で結婚式。		 <p>森山山頂で結婚式</p>			
	9・24	広ヶ野公民館が竣工。					
	10・16	築地町集会所が竣工。					
	10・18	杉沢火災発生。住家、非住家6棟が全焼。					
	10・23	五城目一中創立30周年記念式典を実施。					
	11・3	町功労者 齋藤周作氏(教育、福祉)、加藤裕氏(教育、文化)、伊藤真一郎氏(自治)					
	11・4	馬場目警察官駐在所が新築移転。					
	11・23	工藤政志選手(プロボクシング)の後援会が発会。					
	12・10	浅見内簡易郵便局が開局。					
	12・20	中村地区林業集会所が竣工。					
	12・27	恋地国設スキー場にシュレップリフトが竣工。					
	昭和 53年 (1978)	1・26			杉沢小中学校校寄宿舎の入舎式を実施。		<p>&lt;秋田県&gt;</p> <p>2・1 八郎潟新農村建設事業団が580戸の入植を終え、12年半の仕事に終止符。</p> <p>5・31 尾去沢鉱山が閉山。</p> <p>10・5 皇太子ご夫妻がご来県。</p> <p>&lt;国内外&gt;</p> <p>5・20 成田空港が開港。</p> <p>12・7 大平内閣が成立。</p>
		2・13			名誉町民の渡辺綱彦氏を広域五城目体育館で町葬。		
2・16		第15代町議会議長に荒川豊治氏就任。					
2・19		第1回子どもの雪まつりを五城目小グラウンドで開催。					
3・10		五城目テレビジョン中継放送局が完成。					
3・20		昭和53年度当初予算決定。(一般会計24億1,700万円) 町寿条例を制定。90歳以上の方々に祝い金を支給。(4月1日施行)					
3・30		館越地区集会研修所、浦横町地区集会所が竣工。					
3・31		雀館運動公園運動広場が完成。 坊村橋、高千橋が竣工。					
4・1		杉沢中で緑の少年団を結成。 水田利用再編対策事業の実施。(転作実施面積118ha) 田町町内会から分離し上田町町内会が誕生。					
4・10		天皇陛下御在位50年を記念し部分林5.7haを植林。					
4・22		高千生活総合センターが竣工。					
5・31		大川小学校舎改築工事が竣工。					
					 <p>新校舎が完成し解体される旧大川小学校校舎</p>		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 53年 (1978)	7・14	町農業委員会選挙執行。		
	7・19	昭和53年産米政府買入れ価格決定。(石当たり4万2,940円)		
	7・26	都市計画公園杉ヶ崎墓苑築造工事に着手。		
	8・9	工藤政志選手がジュニアミドル級世界ボクシングチャンピオンに。		
	8・17	五城目一中女子バスケットボール部が全国大会で第5位に入賞。		
	8・26	五城目一中同窓会が結成。		
	9・20	工藤政志選手に町栄誉賞を贈る。		
	10・18	富津内中創立20周年記念式典を実施。		
	10・30	大豆乾燥調整センターが竣工。 谷地中第1 集団栽培組合が集落農場ほう賞で優秀賞、農林水産大臣賞、知事賞を受賞。		
	11・3	町功労者 北嶋諒一氏(社会教育、民生)、笹川久一氏(自治、産業)、二木敬治氏(自治、社会教育)、今村久吉郎氏(公衆衛生)		
	11・5	第1回町内対抗駅伝競走大会を開催。		
	11・8	魁新報社から「さきがけ3号」車が寄贈される。		
	12・13	工藤政志チャンピオンが初防衛に成功。		
	12・15	大川小学校プールが竣工。		
12・20	農業総合整備モデル事業農村環境改善センターが竣工。			
昭和 54年 (1979)	2・1	第7代助役に伊藤卓治氏を選任。		
	3・1	五城目高で林業科、定時制の最終卒業生を送る。	4・8	第4代秋田県知事に佐々木喜久治氏当選。
	3・14	工藤政志チャンピオンが2度目の防衛に成功。	4・25	秋田市金足に水心苑が完成。
	3・19	昭辰都市下水路築造工事が竣工。	4・28	6期24年の小畑勇二郎知事が引退。
	3・20	広ヶ野公営住宅10棟が完成。		＜国内外＞
	3・23	副議長に分銅良一氏就任。 昭和54年度当初予算決定。(一般会計29億8,300万円)	1・1	米中の外交関係が30年ぶりに成立。
	3・26	肉用牛生産振興地域に指定。	8・9	人事院が国家公務員の60歳定年制導入を勧告。
	3・31	第3次五城目町総合開発計画を策定。 林業協業センター赤倉山荘が竣工。(9月11日開館) 北北口簡易水道増設工事が竣工。(給水人口450人、1日当たりの給水能力90立方メートル) 屋内温水プールが竣工。	10・7	第35回衆議院議員選挙執行。
	4・2	町内小中学校で陶器による週3回の米飯給食を完全実施。 県議会議員選挙で館岡勲氏が当選。	11・8	第2次大平内閣が成立。 佐々木義武氏が通産相に就任。
	4・16	新農業構造改善事業地区の指定。		
	5・1	富津内小で緑の少年団を結成。		
	6・1	健康づくり推進員制度を実施。(町内会ごとに健康づくり)		
	6・20	工藤政志チャンピオンが3度目の防衛に成功。 秋田中央交通バスターミナルが開設。		
	7・1	大川出張所が農村環境改善センター内に移転。		
	7・15	馬場目小、杉沢小、内川小に簡易プールが竣工。		
	7・30	昭和54年産米政府買入れ価格決定。(石当たり4万2,940円)		
	8・17	五城目一中男子卓球部が全国大会で第5位に入賞。		
	10・12	五城目高校舎改築落成記念式典を実施。		
	10・24	工藤政志選手が4度目の防衛ならず世界王座を失う。		









工藤政志選手防衛に成功

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和54年 (1979)	10・30	帝釈寺集団栽培組合が集落農場ほう賞で優良賞、知事賞を受賞。		
	11・3	町功労者 福田大太郎氏(自治)、宮田清三郎氏(自治、民生、産業)、猿田俊藏氏(産業)、渡邊彦次郎氏(学芸文化)		
	11・8	五城目地域森林総合整備事業が認定。		
	12・7	太平山県立自然公園内に仙入峡園地が完成。		
	12・19	国道285号秋田峠トンネル、橋改良工事に着工。		
昭和55年 (1980)	1・20	町隣接市町村交歓スポーツ大会を開催。		<秋田県>
	1・22	五城目一中が全日本交通安全協会から表彰。(交通安全教育の寄与)	4・26	県生涯学習センターが完成。
	2・1	1980年農林業センサス実施。	4・29	県立児童会館、子供博物館が山王にオープン。
	3・6	昭和55年度当初予算決定。(一般会計33億6,700万円)		<国内外>
	3・19	町議会議員選挙執行。現職20人、元職1人、新人3人の24人が当選。投票率は93.04%。	2・1	政府がモスクワ五輪ボイコットの方針をJOCに伝達。
	3・26	希望ヶ丘公営住宅29棟の譲渡処分が建設大臣から認可。 農村集団電話一般電話自動化切り替え。	5・19	衆議院解散。
	3・27	健康づくり推進協議会が発足。	6・12	大平首相が急死。
	3・29	秋田地方務局五城目出張所が移転改築。	6・22	第36回衆議院議員選挙、第12回参議院議員選挙執行。
	3・31	相撲場が完成。(6月28日開場) 内川保育園が竣工。(総工費8,017万円) 大川多目的集会所が竣工。(事業費2,415万6千円) 大豆処理加工所が竣工。(事業費3,169万2千円)	7・17	第1次鈴木内閣が成立。
	4・1	内川保育園を開園。	11・26	郵便料金値上げ法案が成立。(封書60円、はがき40円)
	4・7	第16代町議会議長に荒川豊治氏、副議長に伊藤勇蔵氏就任。		
	4・12	雀館運動公園に記念碑「奉仕の碑」が建立。 国際ロータリー第254地区ローターアクト年次大会が開催。		
	4・19	第1回町ぐるみごみ大掃討作戦を実施。		
	5・31	五城目一中野球場建設工事が竣工。		
	8・7	昭和55年産米政府買入れ価格決定。(60粍当たり1万7,674円)		
	8・24	五城目一中男子卓球部が全国中学生卓球大会で準優勝		
	8・28	おせど会館が秋田地方務局五城目出張所移転跡に竣工。		
	9・5	合併25周年記念NHKふるさとの民謡を収録。		
	9・13	稲作異常気象対策本部を設置。 五城目一中の金子美和さんが全県英語暗唱弁論大会で優勝。		
	9・23	総合体育大会制度25周年を記念し、第1回全町水泳大会を開催。		
	10・1	国勢調査実施。(人口1万5,953人、世帯数3,930世帯) 五城目幼稚園創立30周年記念式典を開催。		
	10・11	秋田県最低賃金 1日2,545円、1時間319円		
	11・3	町躍進25周年記念式典を開催。 町功労者 中村清次郎氏(教育)、小林富蔵氏(自治、教育、産業)、石井俊一氏(自治、産業)		
	12・19	五城目警察署が新築竣工。		

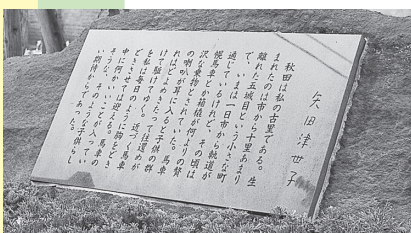


旧五城目警察署(紀久栄町)  
後に中央公民館になる

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和56年 (1981)	1・12	駐日スウェーデン王国大使のベクト・オーデヴァル閣下が来町。	1・26	県総合発展計画案を発表。
	1・18	町PTA研究集会(保育園幼稚園部会、小学校部会、中学校部会)を開催。	6・24	割山の秋田空港を閉鎖。
	2・15	町長選挙執行。第8代町長に加賀谷力司氏が当選。	6・26	新秋田空港を開港。
	3・1	日米親善卓球五城目大会を開催。元世界チャンピオンの長谷川選手、伊藤選手が来町。	7・29	第5回全国高校総合文化祭を秋田市で開催。
	3・8	第1回公民館大会を開催。	8・3	長崎宏子選手が女子平泳ぎで日本新。
	3・19	第7代収入役に千田金之助氏を選任。 昭和56年度当初予算決定。(一般会計40億4,500万円)	12・15	新秋田空港が秋田空港に改称。 <b>&lt;国内外&gt;</b>
	3・25	高崎、合地林業集会所が竣工。	4・12	米スペースシャトルが無事帰還。
	3・27	五城目保健所が竣工。	11・30	改造鈴木内閣が成立。
	4・1	新里町町内会が誕生。(佐々木光雄会長) 上高崎、中村、箱越、浦横町林業集会所が竣工。	12・11	新南極観測船「しらせ」が進水。
	4・7	町役場新庁舎の起工式を実施。		
	4・29	弓道場が竣工。(総工費3,058万円)		
	6・21	第1回五城目町陸上競技選手権大会を開催。		
	7・18	森山山頂に希望の鐘が完成。		
	7・28	昭和55年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万7,756円)		
	8・4	杉ヶ崎墓苑墓地が完成。(313区画、7,500平方メートル)		
	10・16	秋田県最低賃金 1日2,710円、1時間339円		
	10・29	広域基幹林道五秋線が竣工。(昭和48年から9年間、延長2.2キロ、総事業費11億3,293万1千円、利用区域森林面積4,923ヘクタール)		
	11・3	町功労者 小玉久治郎氏(民生、福祉)		
	11・5	ランニングロードが完成。		
	11・25	町農協合併設立15周年農協祭が開催。		
12・8	国道285号秋田峠トンネル、三太橋が開通。郡境の難所を解消。			
12・9	中央線の五城目保健所、馬城橋間846メートルが開通。			
12・10	下山内林業集会所が竣工。			
				
		完成した秋田峠トンネル		
昭和57年 (1982)	3・19	昭和57年度当初予算決定。(一般会計42億3,950万円)		<b>&lt;秋田県&gt;</b>
	4・1	東磯ノ目町内会(三浦清三郎会長)、西磯ノ目町内会(安達悦郎会長)が誕生。	4・9	赤字7億円の湖東総合病院再建計画を厚生連組合で条件付き合意。
	4・24	雀館公園に日本庭園が完成。		<b>&lt;国内外&gt;</b>
	6・22	第17代町議会議長に荒川豊治氏、副議長に佐々木善蔵氏就任。	2・9	日航機が羽田沖に着陸失敗。
	6・30	地域休養センター恋地山荘が竣工。	2・18	中国残留孤児第1陣が来日。
	7・1	野田、岡本、浦横町地域の呼称を森山地区に統一。	4・2	フォークランド紛争。
			11・27	中曽根内閣が成立。
				
				雀館公園内に完成した弓道場
				
				杉ヶ崎墓地築造工事

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
昭和 57年 (1982)	7・13	中山遺跡の発掘調査を実施。(～8月20日)			
	7・28	昭和57年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万7,951円)			
	8・25	町農協カントリーエレベーターが竣工。			
	8	全国大会で五城目一中男子体操部、男子バスケットボール部が準優勝、男子卓球部が決勝リーグ進出。			
	9・2	東北地区公民館大会を開催。東北各地から1,300人が参加。(～3日)			
	9・8	秋田市周辺の市外局番が0188に統一。			
	9・26	大川出張所の廃止が決定。 旧役場庁舎での最終町議会定例会が終了。			
	10・24	町役場庁舎を現在地に移転。			
	11・2	町役場庁舎が新築落成。一般見学者は1万6千人を超える。			
	11・12	五城目番楽(山内、西野、中村)がタイ国ラタナコーシン王朝200年祭に出演。			
	11・16	富津内小嵐山に「みんなの森」を造成。新役場庁舎落成記念として桜100本を植樹。			
	12・10	大川警察官駐在所を新築。 ※秋田県最低賃金 1日2,710円、1時間339円			
					
		昭和57年8月29日、矢場崎グラウンド最後の大会となった東北馬力大会。			
昭和 58年 (1983)	1・1	失業対策事業を廃止。			
	2・1	第8代助役に伊藤卓治氏を選任。			
	2・5	五城目なめこ共同殺菌施設が竣工。			
	3・16	昭和58年度当初予算決定。(一般会計35億8,950万円)			
	4・1	地域住宅計画(HOPE計画)の策定町に指定。 むし歯予防啓発推進事業の地域指定。			
	5・26	日本海中部地震が発生。災害対策本部を設置。(震度5、被害総額7,981万4千円、重傷2人)			
	7・19	京都大学交響楽団演奏会を広域五城目体育館で開催。			
	7・23	中山遺跡発掘調査を実施。「朱塗りの弓」など全国的にも貴重な遺物を発見。 五城目一中男子バスケットボール部が東北大会で優勝。			
	7・29	昭和58年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万8,266円)			
	10・15	県道秋田八郎潟線恋地バイパスが開通。			
	11・3	町功労者 佐藤邦彦氏(自治、産業)、特別功労者 松橋福蔵氏(県外にあって町発展に功労)			
					
					五城目休養センター「恋地山荘」が竣工
					
				昭和57年11月2日、役場新庁舎開庁式	
				<秋田県> 4・10 県知事佐々木喜久治氏が再選。 5・26 日本海中部地震が発生。	
				<国内外> 2・1 改正老人保健法が施行。 6・26 第13回参議院議員選挙執行。全国比例代表制に。 11・28 衆議院解散。 12・18 第37回衆議院議員選挙執行。 12・27 第2次中曽根内閣が成立。	

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和59年 (1984)	1・6	町消防団ラッパ隊が消防出初式で初吹奏。		<秋田県>
	2・10	雪害対策本部を設置。	4・27	雄和町に県立中央公園スポーツゾーンが完成。
	2・11	上町通りの流雪溝が完成。排雪作業を始める。		
	3・8	昭和59年度当初予算決定。(一般会計32億3,700万円) 長期総合発展計画基本構想を策定。 町国土利用計画が議決。	8・20	全国高校野球選手権大会(甲子園)で金足農高が4強。
	3・10	町清掃センターが竣工。	10・11	秋田空港へ航空自衛隊救難隊を設置。県と防衛庁が協定。
	3・28	町議会議員選挙執行。現職16人、新人8人の24人が当選。 投票率は92.61%。		<国内外>
	4・6	第18代町議会議長に小熊金之助氏、副議長に佐々木市太郎氏就任。 町遭難対策委員会を設置。	1・10	政府全閣僚の資産公開実施基準を決定。
	4・20	第1回文化経済懇話会を開催。	1・23	日本初の実用放送衛星を打ち上げ。2月16日に静止成功し「ゆり2号」と命名。
	5・20	馬場目小が学校林活動コンクール全国植樹祭で準特選を受賞。 真崎堰改良工事が完成。	2・27	冒険家の植村直己氏が北米マッキンリーで遭難。生存絶望。
	6・1	秋田中央交通路線バスの一部が湖東総合病院直通となる。	3・18	江崎グリコ社長が誘拐。怪人21面相事件が発生。
	6・2	町森林資料館「五城目城」が開館。	6・30	日本人の平均寿命が世界一と発表。(男74.2歳、女79.78歳)
	6・14	山王山奉納相撲が復活。高性寺境内で開催。	11・1	新札が発行。 第2次中曽根内閣が成立。
	6・15	町誘致企業、北光フェライトが竣工。		
	8・1	全国高校総体レスリング競技会が広域五城目体育館で開催。(～4日)		
	8・8	昭和59年産米政府買入れ価格決定。(60粍当たり1万8,668円)		
	8・19	第1回馬場目川イカダ川下り大会が開催。		
	9・5	湖東部農業共済組合事務所が新築。		
	9・15	広報ごじょうめ500号を発行。		
	9・26	町誘致企業、五城目電機が操業開始。 町職員の定年等に関する条例を制定。定年を60歳に。		
	10・12	最低賃金 1日3,044円、1時間381円		
	10・14	鷹巣町との交歓スポーツ大会が11年の幕を閉じる。		
	10・20	第1回町国民健康保険杯ゲートボール大会が雀館運動公園で開催。(参加42チーム)		
	11・3	石井金之助氏が県文化功労者(工芸)として表彰。 町功労者 遊佐武氏(民生、福祉)、北嶋ヒサ氏(社会教育)		
	11・10	金子喜三郎氏が現代の名工(卓越した技能者)に。		
	11・23	佐川俊雄さんが新嘗祭に「あわ」を献穀。		
	11・26	富津内稜線林道の開通式を実施。(高野、小川口間6.5km、総事業費3億9,700万円)		
	12・13	矢田津世子文学記念碑の除幕式を開催。		



矢田津世子文学記念碑



森林資料館  
「五城目城」

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
昭和 60年 (1985)	2・6	旧役場庁舎を解体。		<秋田県>	
	2・17	町長選挙執行。第9代町長に加賀谷力司氏が当選。投票率は92.96%。	1・7	秋エラグビーが16年ぶり14回目の日本一。	
	3・20	第9代収入役に佐藤祐治氏を選任。	9・9	県行革大綱が決定。	
		昭和60年度当初予算決定。(一般会計31億9,600万円)	12・18	県警と五城目署が大潟村で4億円以上のヤミルートを摘発。	
	4・1	森林資料館「五城目城」で矢田津世子展を開催。		<国内外>	
	4・12	秋田技能社(異業種組合)が結成。(中村成人理事長、組合員8人)	3・10	青函トンネルの本坑53.85kmが貫通。	
	4・15	町記録ビデオ6巻が完成。試写会を実施。テープの貸し出しを開始。	3・14	東北、上越新幹線が上野まで開業。	
	5・1	町議会に広報委員会が発足。議会広報「議会だより」の創刊号を編集発行。	3・16	科学万博「つくば'85」が開幕。	
	5・22	町物産協会が設立。(渡辺琢智会長、会員28人)	4・5	捕鯨を全面撤退。	
	5・29	加賀谷町長が天皇陛下主催赤坂御苑春の園遊会に出席。	8・12	日航ジャンボ機が墜落。	
	6・22	町役場庁舎で防災訓練を実施。	11・19	レーガン米大統領とゴルバチョフソ連書記長が首脳会談。	
	7・24	昭和60年産米政府買入価格決定。(60粳当たり1万8,668円)			
	7・27	町の道路里程標を役場前に設置。除幕式を実施。			
	8・10	共同福祉施設「リバーサイド磯ノ目」が開館。			
		国道285号五城目バイパスが全面開通、供用開始。			
	8・21	中央線(バスターミナル前、新町交差点間)で全町盆踊り大会を開催。			
	8・31	木村謹治博士の顕彰碑を農村環境改善センター前庭に建立。			
	9・8	渡辺銀雨氏の川柳句碑を四渡園に建立。			
	10・1	国勢調査実施。(人口1万5,047人、世帯数3,894世帯)			
	10・20	躍進町合併30周年記念式典を開催。			
	町民憲章、町の花、鳥、木を制定。				
	町功労者 伊藤一郎氏(教育学芸、文化)、長谷川専治氏(産業経済)、本間作治氏(教育、スポーツ)、宮川庄太郎氏(社会体育、民生)				
10・27	杉沢小創立100周年記念式典を開催。				
	ボーイスカウト秋田第30団結団20周年記念式典を開催。				
11・27	町若妻連絡協議会創立10周年記念式典を開催。				
12・8	町連合青年会結成30周年記念式典を開催。				
12・12	旧五城目小、矢場崎グラウンド跡地にそれぞれ記念碑を建立。				
昭和 61年 (1986)	1・24	東京渋谷東急百貨店で秋田大物産展を開催。五城目朝市が好評を博す。(～29日)			<秋田県>
	2・1	町消防団長に畑澤一視氏を任命。	4・1		県赤十字血液センターが、これまでの倍の400ml献血を開始。
	2・7	雪害対策本部を設置。	7・18		「秋田博'86」が開幕。
	3・18	町議会議員の定数を24人から22人に変更。	8・28		県総合保健センターと県社会福祉会館、県衛生科学研が完工。
		水道料金を改正。(4月1日施行)	11・1	国鉄阿仁合、角館両線が第三セクター「秋田内陸線」として開業。	
	4・3	昭和61年度当初予算決定。(一般会計31億8,800万円)		<国内外>	
	4・3	第19代町議会議長に小熊金之助氏、副議長に佐々木市太郎氏就任。	5・4	第12回先進国首脳会議(東京サミット)を開く。	
	4・8	市発祥の記念碑を町村農村公園に建立。	7・6	第38回衆議院議員選挙、第14回参議院議員選挙執行。	
	4・20	北ノ又、蛇喰で映画「イタズ・熊」のロケが始まる。	9・6	社会党委員長に土井たか子氏が就任。初の女性党首。	
	4・26	矢場崎町営住宅を一般に公開。			
	5・1	広報ごじょうめに有料一般商業広告の掲載を開始。			
	5・2	第17回秋田県建具展が広域五城目体育館で開催。町内業者が上位を独占。			

国道285号線五城目バイパスが完成

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 61年 (1986)	5・15	複式学習指導研修講座を杉沢小で開催。		
	5・26	五城目橋歩道架設工事を開始。		
	5・31	加賀谷町長が千代田区役所で加藤千代田区長と会談。姉妹都市提携を前提とした交流が始まる。		
	6・3	あいさつ運動モデル道路を設定。		
	6・6	第32回全県高校総合体育大会バレーボール、レスリング競技を開催。(～9日)		
	6・9	日輝会会長の三上隆彦画伯が来町。美術作品100点の本町への寄贈が決定。		
	6・21	五城目木材流通センターが杉ヶ崎に完成。		
	7・1	馬城橋の架け替え工事が始まる。		
	7・16	町内会長会会長に新谷秋蔵氏が就任。		
	8・13	昭和61年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万8,668円)		
	8・22	長寿社会構築対策懇談会を設置。		
	10・12	最低賃金 1日3,251円、1時間407円		
	10・19	町功労者 松橋福蔵氏(文化)、安田鶴治氏(民生)、菊地庄七氏(産業開発)、沢田石廣治氏(自治、民生、産業)		
	11・10	木造住宅産業と中央線シンボルロード沿道整備の推進部会を設置。		
11・22	町行政教育大綱がまとまる。 千代田区神田旭町の佐竹稲荷神社で秋田杉の植栽と記念碑を建立。			
12・7	馬川小跡地に記念碑を建立。			
				
		五城目町教育振興大会		
昭和 62年 (1987)	1・4	役場執務室での喫煙を禁止。		<秋田県>
	2・1	第9代助役に伊藤卓治氏を選任。	1・29	プロ野球の落合博満選手が県民栄誉賞を受賞。(第1号)
	2・10	恋地山荘が宿泊施設に生まれ変わる。	4・12	県知事佐々木喜久治氏が3選。
	3・18	昭和62年度当初予算決定。(一般会計37億8,560万円)	12・19	森吉、阿仁スキー場がオープン。
	3・31	富津内中が閉校。	<国内外>	
	4・1	五城目一中と富津内中が統合。 「いきいき町民100日運動」がスタート。 森林資料館「五城目城」で館岡栗山展を開催。	9・22	天皇陛下がすい臓疾患で入院手術。
	4・12	県議会議員選挙で伊藤万次郎氏が当選。	11・6	中曽根氏の指名で竹下政権が成立。
	5・3	青森市で開催された東北少年レスリング大会に本町のチビッコレスラーが初登場。	12・8	レーガン・ゴルバチョフ首脳会談がホワイトハウスで開催。INF全廃条約に調印。
	5・17	映画「イタズ・熊」が完成。弓道場で試写会を開催。		
	6・17	千代田区から「江戸上水道木樋」が寄贈。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
昭和 62年 (1987)	6・19	日輝会からの美術作品100点寄贈を記念し式典を開催。		
	7・1	町グリーンセンター(し尿処理施設)が起工。		
	7・17	昭和62年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万7,557円)		
	7・25	千代田区神田旭町会と本町町内会長会が姉妹都市提携調印。		
	8・12	町道水沢線が開通。		
	8・29	第1回愛のふれあいパーティー青年交流会を開催。		
	9・14	町議会議長の小熊金之助氏が逝去。		
	10・3	第20代町議会議長に齊藤三四郎氏就任。		
	10・10	最低賃金 1日3,323円、1時間416円		
	11・3	町功労者 小玉嘉一郎氏(教育)、佐藤郁氏(社会教育)、伊藤彌一氏(自治、産業)、小玉太美雄氏(自治、民生、産業)		
	11・15	菅江真澄記念碑を円通寺内に建立。		
昭和 63年 (1988)	3・8	昭和63年度当初予算決定。(一般会計38億2,600万円)		
	3・15	町グリーンセンター(し尿処理施設)が竣工。4月1日から本格操業。	2・6	<秋田県> 岩城CC疑惑で県が県知事など19人を処分。秋田魁新報社では3人が退陣。
	3・27	町議会議員選挙執行。現職16人、新人6人の22人が当選。投票率は90.71%。	8・3	あきたこまちが品種別作付けでキヨニシキを抜きトップに。
	4・1	「千代田のさくらまつり」に本町の朝市が参加。		
	4・6	第21代町議会議長に小玉哲郎氏、副議長に齊藤明氏就任。	12・6	交通事故の死者が過去10年間で最高の100人に。
	4・13	コスモスロード造成推進部会が発足。		
	4・16	伊藤シミさんが満100歳。町寿条例の100歳祝い金第1号に。		<国内外>
	4・30	馬城橋の竣工記念式典、第1回きゃどっこまつりを開催。	1・1	米ソの首脳がテレビを通じ相手国民への新年のメッセージを交換。
	6・8	国道103、104、105、285号の統一愛称を「あきたリゾートライン」に決定。	1・13	訪米の竹下首相がレーガン大統領と初の首脳会談。協力関係維持で合意。
	6・12	「全国朝市サミット・イン五城目」を開催。		
	7・22	昭和63年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万6,743円)	3・13	青函トンネルが開業。連絡船は80年の歴史に幕。
	8・6	町教育委員会英語指導助手にアーネスト・サンダーさんが着任。	4・10	瀬戸大橋が開通。
	9・1	千代田区防災訓練に救援物資を搬送。		
	9・23	富津内北口に千代田区神田旭町会と本町町内会長会の姉妹都市提携記念碑を建立。		
	10・6	教育長に渡部雄一氏が就任。		
	10・14	最低賃金 1日3,424円、1時間429円		
	10・23	町功労者 佐藤祐耕氏(教育)、永澤政治郎氏(伝統技術、弓道)、阿部チャ氏(社会教育)、加藤甚一氏(自治)、畠山豊氏(自治、産業)		
	11・1	第111回秋田県種苗交換会が本町で開催。(～7日、入場者数52万8千人)		
11・5	河川花だん「磯ノ目フラワーライン」が内閣総理大臣賞を受賞。			
11・15	広報ごじょうめ600号を発行。			



第111回秋田県種苗交換会